

月	日	項目	分類	会場	内容
10	7	友朋祭		友朋の丘	
	15	月形学園施設見学会		月形学園	
	18	北海道女性議員協議会総会		旭川市	記念講演「日常生活と法律」、総会
	19	北海道女性議員協議会総会			環境分科会(ゴミ処理・リサイクル)討論
	26	北海道ベレット(株)月形工場見学		町内工場	地球を愛する会@月形と同行
	30	月形町議会道内視察研修		厚沢部町	厚沢部町の焼酎工場、ベレット工場、他
	31	月形町議会道内視察研修		黒松内町	黒松内町の施策説明
11	1	月形町議会道内視察研修		他	道の駅の視察
		ゆみこの議員活動報告書1・2発行			
	2	月形町表彰式		はな工房	町政功労者賞、貢献賞、善行賞の表彰
	6	総務民教常任委員会		委員会室	知来乙小跡地利用、町立病院の運営
	9	産業建設常任委員会		委員会室	観光振興の状況、地産地消の取り組み
	11	月形中学校創立60周年記念式典		月形中学校	記念式典、祝賀会
	13	月形高校 公開授業		月形高校	2,3校時
	15	北海道市町村合併シンポジウム in 旭川		旭川市	「市町村合併を含めた基礎自治体のあり方」 講師 西尾勝氏、他
	18	環境フォーラム2007 Vol.2 「21世紀・持続へのシナリオ」		札幌市	「私たちの前にあるのは運命ではなく、選択である」 デニス・L・メドウズ博士、枝弘淳子氏
	21	石狩川を語るついでin月形		はな工房	石狩川とともに歩んだ生活の歴史をたどる
	22	栗山町議会へ個人視察		栗山町	議会改革・議会活性化について
12	11	議員協議会 定例会(平成19年第4回)		議員控室 本会議場	議案の説明、議員活動(公式)の報告、他 一般質問、議案の議決他
	12	議員協議会 定例会(平成19年第4回)		議員控室 本会議場	福祉センターの建替え、他 議案の議決他
	14	月形中学校 公開授業		月形中学校	3年国語、授業公開と研究協議
	22	キャンドルナイト in 月形		ちらいおつ遊び塾 / 地球を愛する会@月形・空知支庁	
1	5	月形消防公設110周年 出初式		福祉センター	分列行進、式典
	11	月形町新年交礼会		多目的研修	
	12	月形町成人式		多目的研修	式典、祝う会
	16	臨時会(H20年度第1回) 議員協議会		本会議場 議員控室	補正予算、請負契約の変更、他 福祉センターの建替え、他
	21	北海道女性農業者ネットワーク 設立記念フォーラム2008		札幌市	テーマ「ゆっくり耕せ人と農」、設立総会 パネルディスカッション、分科会
	31	ほくでん環境講演会		札幌市	気象台調査官が語る「南極の今、北海道の未来」

分類 一 :議会活動、 :議員活動(公式) :議員活動(個人) :議員会活動(親睦団体)

定例会、臨時会、特別委員会の議事録ならびに常任委員会の報告書は、[ 町民サロン ]と

[ 月形町ホームページ > 議会 > 議会のうごき ]で公開されています。

上記の議員活動について、詳しい内容と感想などをブログ「ゆみこの日記」で公開しています。

## 編集後記

議員になってから、様々な行事や会議に出席する機会が増え、経験や見聞を広める機会を与えていただいています。そのお陰で新しい発想や繋がりを作ることができました。例えば12月定例会の一般質問は道内視察がヒントになっています。

また、この議員活動報告書やブログを書くようになって、毎日の活動や出来事を「伝えるための目線」で捉えるようになりました。正確さ、楽しさ、面白さ、伝え方、色々な要素でものを見ることにより新しい「気づき」があり、知識も広がりました。町民の皆さんに「伝えたい」という想いから始めたことが、私自身の能力向上にも繋がっています。

歳を重ねたお陰か、世の中の多くのことが繋がりが(循環)の中で生かされていると感じるようになりました。

4 「情けは人のためならず」まさしくその言葉通りだと。



# ゆみこの 議員活動 報告書

2008. 2. 1

3

発行 宮下裕美子(月形町議会議員)  
樺戸郡月形町市南1 TEL・FAX 0126-53-2611  
メール mail@yumiko3.net  
ホームページ http://www.yumiko3.net/  
ゆみこの日記 http://www.yumiko3.net/blog/

## 産業建設常任委員会(11月9日)

### 1) 観光振興の状況について

町内美化事業(町内一部花壇の管理等)  
はなのまち推進事業(花苗の配布)  
イベント実施事業(つきがた夏祭り、つきがた産業まつり)  
観光振興事業(看板整備、観光広告、観光PR他)

**委員会意見** 観光振興の目的(町のPR、経済とリンク、皆楽公園を活かす)やターゲット、戦略などを明確にしていく必要がある。町内にある資源・施設の有効活用や連携、再整備をして、相乗効果の出せる観光地づくりを。

### 2) 地産地消の取り組み状況について

H18.3「地産地消計画推進協議会」設立、H19.5 体制強化  
新野菜導入推進事業  
(つち工房で栽培試験、ゆりかごで販売し反応調査)  
郷土料理コンクール事業  
加工研究事業(リンゴジャム、かぼちゃスープ、トマトゼリー)  
産地間交流活動事業(H18年度 足寄町農協)  
啓発活動事業  
(「食っちゃえ!」の発行、食育・地産地消標語コンクール)  
イベント活動事業(産業まつりに協賛)・調査研究活動  
・製粉機の導入(蕎麦専用機、小麦・大豆・米汎用機 計2台)

**委員会意見** 地産地消の推進は行政だけでは限界があり、農協による主導が必要では。また、常設の施設(直売所)整備を、今後検討する必要があるのでは。

月形は様々な農産物を生産しているので材料はよりどりみどり、可能性もあります。地産地消計画推進協議会の体制が強化され、加工研究部会や栄養師部会などの実戦部隊も随時活動しているので、今後が楽しみです。またそれらを生かした観光振興にも期待できると思います。

この冬は気温が低い上に灯油高や物価上昇  
厳しいですね。それでも陽が長くなり春の気配を感じると  
「ほっ」とします。春が待ち遠しいです。

さて、ゆみこの議員活動報告書1・2の発行後はたくさん  
のご意見やご感想をお寄せいただき、ありがとうございました。  
一つ一つが励みになります。

あれから早3ヶ月。この間の活動は  
皆さんにお伝えしたいことばかりで、  
今回は内容盛りだくさんです。小さい  
字ですが、ぜひご覧ください。



## 総務民教常任委員会(11月6日)

### 1) 旧知来乙小学校の跡地利用の状況について

旧知来乙小学校は、NPO法人ファミリーサポート聖十  
字広場(本部:岩見沢市)に貸し付けられ、H19年8  
月1日から「ちらいおつ遊び塾」として運用が始まった。  
交流人口の創出と特産品等の消費拡大を目指している。  
運用開始から順調に利用者数を増やし、波及効果(町  
営プールの利用など)も広がっている。ただし町内の利  
用者が少ない。

**委員会意見** 町としても町民に対するPRを含め、よ  
り一層の協力が必要ではないか。

### 2) 月形町立病院の運営状況について

#### 【H19年度の運営状況】

月形町立病院は医師他の人員が確保できており、一般  
40床、救急指定病院として充実した運営がなされてい  
る。しかし患者数(利用者数)は人口減とともに年々減  
少し、老人医療費の値上がり後からはその傾向が顕著に。  
H18年度は5,200万円強の赤字が発生したが、内部  
留保資金で対応できた。今年度は途中経過ながら改善さ  
れる見込み。医療制度の変更により経営上様々な困難が  
出てくるが、その都度最善の方法を選択し努力している。

#### 【自治体病院等広域化・連携構想(素案)】

道の広域化・連携構想の素案で、月形は第5ブロック  
(岩見沢を中核とする地区)になり、その中で月形町立病  
院は栗沢病院と共に「比較的小規模だが病床利用率が高  
く、今後も適切な運営が求められる」と高評価を得ている。  
今後の構想(道)や指針(総務省)の動きに注目し、  
適切に対処していきたい。

**委員会意見** 町内にはたくさんの福祉施設(老人・障  
がい者)や矯正施設があり、往診や特殊な診察などが求  
められていて、身近な医療が欠かせない。これらの視点  
からの町立病院の役割(位置づけ)を確立し、必要性を  
検討すべきである。

町立病院関係者が制度改革に素早く対応し、赤字を  
最小限にするよう努力している姿に感心します。しか  
し、来年度からは後期高齢者医療制度が始まり高齢者  
の負担が増えるため、病院の利用率も下がる可能性が  
あります。

町立病院がどうあるべきかは、経営のことだけでな  
く町民の福祉と医療全体を考えた中で議論し、皆さん  
に説明・理解してもらうことが重要だと考えます。  
疑問やご意見など、お気軽にお寄せください。

町民の移動手段の確保について

質問・宮下

月形町の公的な移動手段は、町外へはバスやJR、町内ではスクールバス混乗や福祉タクシーがあります。しかし運行数が少ない、利用に制約や条件があるなど利用しにくい状態です。このため自家用車を持たない人や福祉の要件に満たない人は不便を強いられ、その代表格が高齢者です。高齢化の進む月形町において移動手段の確保は、今後益々重要な課題になります。

一方、月形町には民間タクシーがあり公共交通を補っていると考えますが、厳しい経営を強いられていると聞きます。もし現事業者が廃業することになれば、再度民間による営業再開は考えられません。そこで町長に質問します。

- 1. 月形町における、タクシー事業の位置づけ。
2. H18暮れにタクシー事業者が廃業してから、H19春に別事業者が開業するまでに行った行政支援の内容。
3. 町として、タクシー事業を支援し経営を安定化させさせる考えは。
4. 私個人の支援アイデアについての感想や意見
黒松内町の『お出かけサポート券事業』
役場公用車の一部をタクシーで賄い、台数を減らす（財政改革に繋がる）

回答・町長

- 1. 町としてもタクシーは準公共交通機関として認識している。
2. タクシー事業の継続に地元業者が手を挙げたが、審査基準に当てはまらず許可にならなかった。そこで町はH19年1月から北海道運輸局に相談・働きかけをし、3月に審査基準の一部改正、6月から営業再開となった。金銭的な支援は全くしていない。
3. 行政として直接的な金銭支援はできないが、一部委託などができるか検討中。タクシー事業者には今後も民間としてやって欲しい。
4. 『お出かけサポート券事業』には福祉という観点で興味がある。公用車の関係は、タクシーで間に合うのか、財政改革に繋がるのか、疑問が残る。

学校教育における質の向上について

質問・宮下

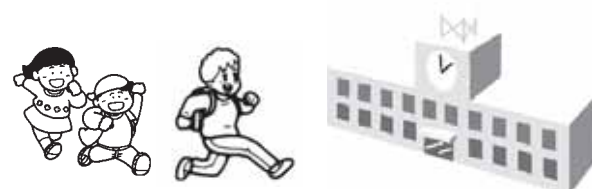
学校教育に不安と関心が高まる中、月形町では小中高の各学校が特徴を持った取り組みをし、それぞれ独自に「学校だより」などで積極的に広報しているのは素晴らしいことです。ただ、学校間交流の情報はほとんどありません。加えて、私は『地域力の活用』が今後重要になると考えていますが、現状では、学校が地域と離れていっているように感じます。

そこで、教育長にお伺いします。

- 1. 学校間での交流や協力、情報や手法の共有はどのように行われているのか。
2. その重要度をどのように認識しているのか。また、より質の高い学校教育のための今後の施策は。
3. 『地域力の活用』をどのように考えているのか。その具体策は。

回答・教育長

- 1. 現在、町内の教育機関で行われている交流等の具体例（主なもの）は
[教師を中心にした交流]
小中教職員全員による3校交流会 / 教科部会（実践発表、資質向上、悩みの共有、他）年3回
公開授業による研究会
校長会、教頭会（月1回）
小中高児童生徒指導連絡協議会
[子供を交えた交流]
小学校）合同給食、合同修学旅行
子供会・社会教育）リーダー研修会、ミニバレーボール大会、各種スポーツ講習会、他
2. 学校間および教育委員会の連携は重要だと認識している。「知・徳・体」の調和が取れた子供を育てることが目標であり、今後の取り組みとして「地域で子供を育てる環境づくり」も考えている。
3. 地域人材（地域の教育力）の活用、地域にある施設・設備の利活用は、現在も取り組んでいて成果を上げている。今後も積極的に活用していきたい。



先進的な取り組みや実績を上げている自治体を視察し議会活動に生かすことを目的に、2年に1度実施しています。各常任委員会が主体となり、月形町議会議員全員の参加です。なお行政視察研修にかかる経費は「月形町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例」に基づき支出された、日当および宿泊料で賄われています。

厚沢部町

1) メークイン等を原料にした焼酎製造
民間企業が試験的に栽培したサツマイモ「黄金千貫」が地域に定着し、それを原料にした焼酎製造工場を誘致した。現在は特産のメークインを使ったじゃがいも焼酎も製造。原料の麹用米はJAから、黄金千貫は町内農家との契約栽培、メークインは規格外品も使えるため、経済的波及効果が大きい。

町は工場建設にあたり、企業立地促進条例に基づく支援（インフラの整備、補助金の交付、課税の免除）をしているが、主体は民間企業と農業者。

2) トドマツ原料の木質ペレット製造

製造業者の「佐々木総業」は、建設業や廃棄物処理業の傍ら木質ペレットを製造することで、人員や機材を効率的に配置・稼働していた。また作業所や機材の多くが手作りで、徹底したコスト削減が図られていた。

原料は周辺国有林の間伐材で不足することはない。販売は道南から札幌方面まで幅広い。

いずれの町も、発展の「種」は民間や個人が持ち込み、ある時点で行政が積極的に支援することで大きく開花させていた。その判断力はどこから来るのだろうか。私達ももっと感性を磨き学ぶ必要があると感じた。また、町の方向性をハッキリ打ち出すことにより大きな力に繋がることも興味深かった。まずは情報収集、そして議論。足りないと思う。

黒松内町

酪農から「福祉の町」に転換し、人口の4割が福祉関係に従事している。「ブナ北限の里」をまちづくり構想の柱に展開し、年間20万人が来町する町となった（人口は約3,300人）。現在の課題は、町立病院と点在する離農家の廃屋。

1) 総合移住対策事業

移住対象は若者からお年寄りまで全世代。移住者が新たな価値を持ち込んでくれると歓迎している。

役場内に関連部署が連携した「総合移住対策連絡会議」を設置、ホームページを最大限活用。自家住宅建築奨励事業（地元業者の活用、屋根の形状統一）、景観修景事業（住宅の色彩指定）、北方型住宅建設奨励事業（案・国から補助あり）などを合わせて展開。

2) 地球温暖化防止対策 月形町と同様の施策

3) お出かけサポート券交付事業

高齢者等の外出支援。温泉券またはタクシー券として利用できる共通券の発行。利用者が自分にあった使い方を選べるので利用率が高い。

道の駅視察

計11カ所

道南を中心に旅程に合わせて道の駅を視察。施設の雰囲気、配置、利用状況（農産物の直売、特産物、展示等）に注目した。



疑問にお答えします・・・『議員の報酬と費用弁償について』

月形町議会議員は、報酬として月額168,000円（役職により異なる）と期末手当4.4ヶ月分（年間）が支給されています。他に費用弁償（「交通費：片道2km以上が対象」と「日当」）があり、議会の招集で常任委員会等に出席、あるいはその他公務のために出張した場合に支給されます。ただし町内および（空知支庁管内）岩見沢市、美唄市、三笠市、奈井江町、浦臼町（石狩支庁管内）当別町、新篠津村への出張は交通費のみです。また議員が派遣されている各種委員や理事等の活動については、各機関の規定による報酬が支給されています。《私の場合は国民健康保険運営協議会と月形町土地開発公社で、どちらの報酬も通常3,600円/回[ともに日額7,200円（4時間未満は半額）+交通費のため]》。

なお、詳しくは「月形町議会議員の報酬および費用弁償に関する条例」「非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償支給に関する条例」をご覧ください。（月形町のホームページ>例規集から検索できます）